

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区相模原2丁目計画新築工事	階数	15階
建設地	相模原市中央区相模原2丁目156番23	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	87人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年4月25日
敷地面積	623 m ²	作成者	(株)アトリエプラス
建築面積	188 m ²	確認日	2024年4月26日
延床面積	2,441 m ²	確認者	(株)アトリエプラス

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

環境品質 (Q) vs 環境負荷 (L)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 85%
③ 上記+②以外の: 85%
④ 上記+: 85%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.0
Q2 サービス性能: 2.3
Q3 室外環境(敷地内): 2.4
LR1 エネルギー: 4.1
LR2 資源・マテリアル: 2.5
LR3 敷地外環境: 3.0

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (Q1のスコア=3.0)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア=2.3)

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア=2.4)

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー (LR1のスコア=4.1)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア=2.5)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア=3.0)

3 設計上の配慮事項

総合	その他
JR横浜線相模原駅から徒歩8分の近隣商業地域に共同住宅をRC造15Fで計画した。	
Q1 室内環境 開口部の遮音性能はT-2を採用し室内の良好な音環境を確保している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級2相当。
Q3 室外環境(敷地内) 0	
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4。BEI=0.86、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 0
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率85%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される